

MLA48

NEWS
LETTER

2022年9月11日

No. 232

MLA48 プロジェクト



148 Members
120(JA), 28(DX)

🔊 9月度ミーティング(MLA48 通算第189回)

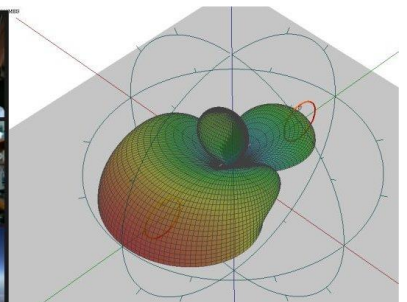
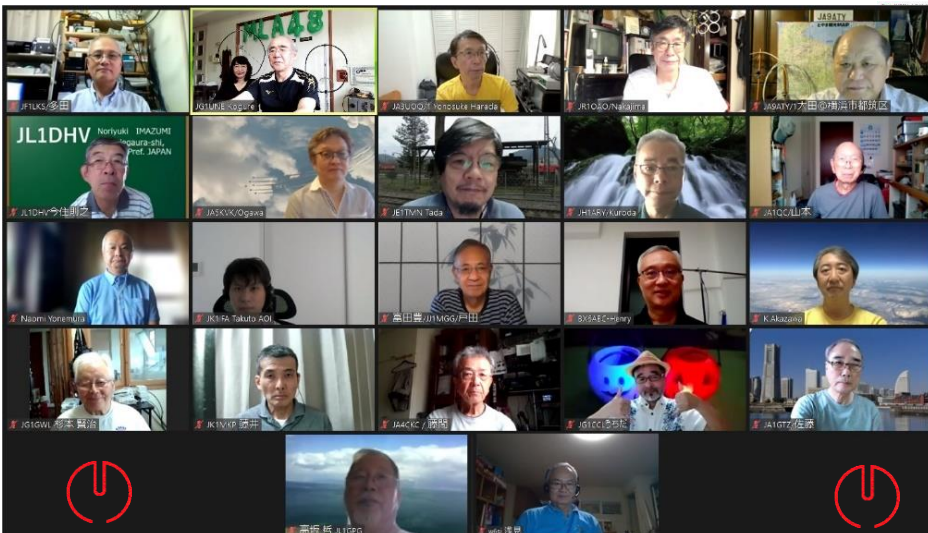
9月11日(日) [MLA48 プロジェクト](#) オンラインミーティングを開催。はじめに事務局から [HAM Fair 2022 \(YouTube 動画\)](#) のブースで登録された新メンバーの紹介と、[ブース展示の様子](#)などを報告しました。また、本日ご参加のメンバーから新メンバーへ向けて、自己紹介・近況報告などもお願いしました。



ベーシック編(Basic Session)は早速新メンバー [JJSRJD 米村さん](#) から、使用されている MLA と通信状況 (FT8) を発表していただきました。 [MK-7AM](#) からの電波を PSK Reporter を使ってマッピング。垂直設置で 0 度、45 度、90 度の違いを評価されています(今回は 21MHz と 14MHz)。

ループ面を北東(90度)に向けたケースでは、8の字パターンのビーム方向が VK, YB, ZL 方面に対して FB です。送信はその通りでしたが(右図)、受信の方はよくない時もあったとのこと。アンテナの可逆性からは不思議だというご指摘もあって、引き続き評価と発表をお願いします。ループ面が水平の設置は、全般的によくなかったようで、ひさしの長いトタン・フレームが影響しているのか…?

フリー編(Free Session) は [JGIUNE 小暮](#) が「位相差給電 MLA の電磁界シミュレーション結果」を発表。前半の八木宇田アンテナの仕組みを考えると、米村さんの MLA 近くにある短縮 V 形ダイポール(CHV-5α)でも、反射器として働いているのかもしれませんが、MLA は位相差給電の方が容易く指向性を得られます。しかし MLA が 2 つで損失抵抗も 2 倍なので、放射抵抗が低い MLA では放射効率が半減してしまいます。



一方、指向性は増すので、目的方向へ絞って放射できます。狭いベランダでは無理せずシンプルな1回巻き単体がベストなのかもしれません。

DE JGIUNE 📶